

女性の就農環境改善計画書

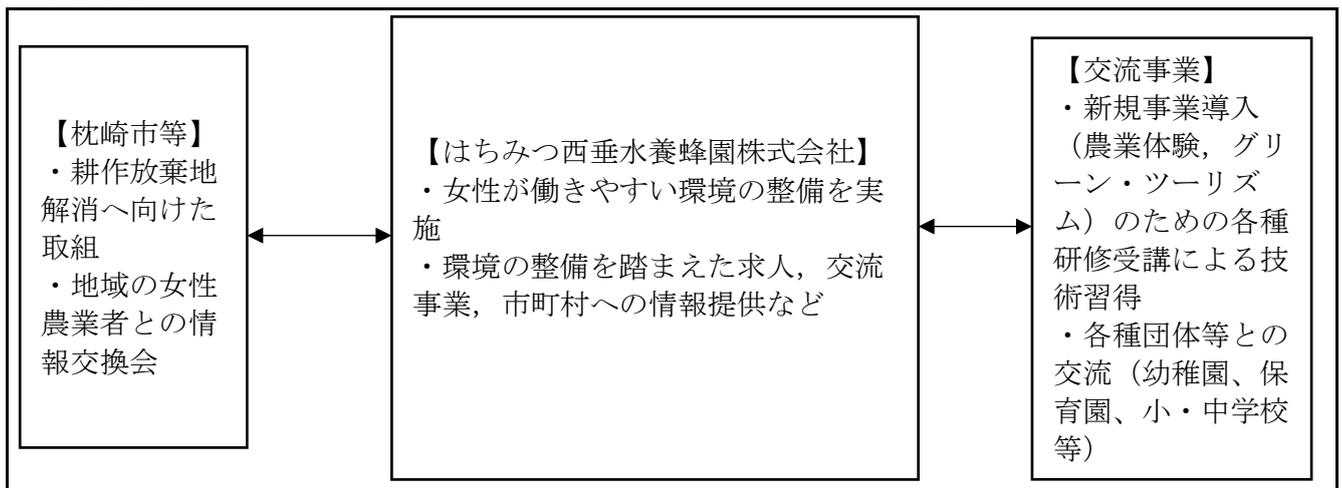
(令和5年度女性の労働環境整備・活躍強化事業(女性が働きやすい環境の整備支援))

1 地域取組主体の概要

| | | |
|--------------|--|-----------------|
| 名称 | はちみつ西垂水養蜂園株式会社 | |
| 所在地 | 鹿児島県南九州市知覧町西元12600 | |
| 代表者 | 西垂水栄作 | |
| 主な組織の事業内容(注) | <ul style="list-style-type: none">・ 事業内容：養蜂業(蜜蜂あるいは蜜蝋や花粉をとるためにミツバチを飼育)・ 従業員数：16名(うち女性7名)・ 経営規模(採取地) 県内：採取地みつばち600群, 交配みつばち600群 県外：北海道, 秋田, 長崎・ 農業関連事業：ハチミツの加工, 販売・ 耕作放棄地の解消, 蜜源植物の確保・ 働きやすい環境のための取組 | 女性農業者の人数： 7人 |

(注) 主な組織の事業内容は、具体的に記載する。

2 事業実施体制



(注) 実施に必要な関係機関との実施体制を記載する。

3 女性の就農環境改善のための取組計画

(1) 地域取組主体における女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題（注）

【地域の女性農業者の課題】

- ・養蜂業は特殊な職業の為、家族経営が多い。そのため、女性農業者は農作業と家事・育児を両立しながら一従業員（労働者）として重要な役割を担っている。農業という職業に誇りを持っており、養蜂業のPR等情報発信が課題である。
- ・高齢化や後継者不足により専業の養蜂農家が減少している。国産はちみつの需要に対応するため、事業拡大に向けてインドネシア特定技能実習生（男性）の確保に経費が必要となり、女性の労働環境の整備が遅れており、女性の雇用の確保が困難な状況である。
- ・農地バンク活用による耕作放棄地解消に伴いみつばちの採取地が増えており、地域の女性とのネットワークづくり等が重要となっており、養蜂業について理解してもらうため花いっぱい運動や交流の機会を増やすことが課題である。

【現状の労働環境を踏まえた施設等の必要性】

- ・女性従業員7名のうち、7名が養蜂業および加工販売に従事している。
- ・蜂箱の洗浄や清掃を行う農作業倉庫横に男女兼用のトイレを設置しているが、インドネシアの特定技能実習生等の男性が主に使用するため、女性従業員がトイレを使用しづらいとの声がある。そのため、衛生面も考慮し男女別のトイレを設置し、安心して使用することにより女性が働きやすい環境を整備したい。
- ・女性従業員がトイレを使用しづらい環境は、健康面や精神面でも負担になり、作業の効率性にも影響しているため、女性従業員が十分に能力発揮できるよう女性専用のトイレの設置が必要である。
- ・また、作業倉庫横のトイレは面積が狭く、トイレを使用しづらい状況のため、トイレ面積の拡大と併せて、女性専用の多目的トイレの設置も必要である。
- ・現在、女性従業員は、着替えや休憩は加工販売施設の作業場を使用しており、プライバシーが十分保護されていないため、更衣室や休憩室の設置が必要である。
- ・今後の事業継承も考慮し、後継者の配偶者や従業員に子供が出来た時、乳幼児と一緒にトイレを使用できるようベビーシートやベビーチェアの設置や子どもたちを安心して保育できる託児スペースの設置など子育てしやすい環境整備が必要である。

【その他女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題】

- ・農業体験やツーリズムの導入も今後実施していきたい。その中で養蜂業の面白さをアピールしていきたい。
- ・農地バンクを活用した耕作放棄地解消や鳥獣害対策として、養蜂業の採取地の拡大を行っている。養蜂業への理解を深めるため、環境整備（花いっぱい運動）としてミツバ

チの繁殖のための花（菜種，そば，ヘアリーベッチ等）の種まき，収穫後は交流（体験やグリーン・ツーリズム，商品の試食販売等）を行い，地域の女性に参加してもらい，養蜂を知ってもらう。

（注）（２）の取組に係る具体的な課題を記載する。

（２）女性の働きやすい環境を整備するための託児スペース、男女別トイレ、更衣室等の確保に係る計画（注1）

| 確保する施設等の区分 | ①託児スペース ②男女別トイレ ③更衣室 ④休憩スペース ⑤アシストスーツ、高さが調節できる作業台等の備品の確保 ⑥その他 | | | | |
|--------------|--|---------------|----|----------------------|----|
| 区分番号 （注2） | 時期 | 確保場所 | 数量 | 利用する女性農業者 （注3）の人数 | 備考 |
| ①，②，③，④ | R6.10 | 加工販売施設（990㎡）横 | 1 | 6 | |
| | | | | | |
| | 計 | | | | |

（注1）事業実施主体は、本計画をホームページへ公表する際には、「事業費」及び「国庫補助金」の欄を削除すること。

（注2）「確保する施設等の区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。また、⑤又は⑥を選択した場合は、具体的な名称も記載すること。

（注3）農業者は、新規参入者、自営農業就農者（結婚を機に就農された者を含む。）、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等の農業関連事業を含む年間30日以上従事者とする。

農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含む。

4 整備内容を踏まえた「目標」達成のための取組（注）

| 時期 | 取組内容・回数 | 備考 |
|----|--|----|
| 年間 | ・新規事業（農業体験やグリーン・ツーリズム等）導入のため、各種研修を受講し知識や技術を習得し、その中で養蜂業の面白さをアピールしていきたい。（現在、市農政担当課と連携） | |
| 年間 | ・インスタやフェイスブック等SNSで事業内容等情報発信 | |
| 年間 | ・女性従業員に、地域農産物を使用した昼食の支給を行う。 | |
| 年間 | ・1日の労働時間（休憩時間除く）が8時間、1週間40時間を超えた分から25%割り増し賃金 | |
| 年間 | ・保育園の親子、小中学生等の農業体験・グリーン・ツーリ | |

| | | |
|---------|--|--|
| 5月～10月 | ズムの受入による働きやすい環境のPR ・農地バンク活用による耕作放棄地解消、環境整備（花いっぱい運動）を行っている事をもっと地域の女性に知ってもらいたいし参加してもらい、養蜂業の関わり知ってもらいたい。ミツバチの繁殖のため花（菜種、そば、ヘアリーベッチ等）の種まき、鳥獣害対策と併せて交流（商品の試食販売や体験等）を行う。 | |
| 4月～12月 | ・女性グループへの参加、経営研修等への参加 | |
| 10月～11月 | ・販路開拓する為の商談や展示会に参加して弊社を知ってもらいたい女性の呼び込みをしたい。 ・南九州市が参加するイベント（フードスタイル）への出展 | |

(注) 女性の就農環境改善のための整備内容を踏まえた、女性農業者確保の目標の達成のための具体的な取組内容（例：更衣室や休憩室の設置など働きやすい環境のPRによる求人など）を記載すること。また、第2の1の(5)の実績報告においては記載不要。

5 女性農業者確保の目標 (注)

| | | | |
|---------------------------------|---------|---|---|
| 翌年度末までの女性農業者の新規確保人数 (注) | 事業実施年度 | 1 | 人 |
| | 事業実施翌年度 | 1 | 人 |
| | 合計 | 2 | 人 |
| (女性農業者の新規確保人数の内訳) | | | |
| 自営農業就業者 人、雇用就農者 1 人、 アルバイト等 1 人 | | | |

(注) 事業実施年度の翌年度末までの新規確保人数。また、第2の1の(5)の実績報告においては記載不要。

※必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付すること。

※添付資料のうち、申請者のウェブサイトにおいて閲覧が可能な場合は、当該ウェブサイトのURLを記載することにより当該資料の添付を省略することができる。

※国が必要と求める資料については、求めに応じ、遅滞なく提出しなければならない。

※第2の1の(5)の計画の承認申請においては、本様式中の「(実績)」を削除すること。